

2011年4月27日

各 位

旭化成ケミカルズ株式会社

サウジアラビアにおけるアクリロニトリル事業化検討のための合弁会社設立について

旭化成ケミカルズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：坂本 正樹）は、サウジアラビア基礎産業公社（Saudi Basic Industries Corporation、以下「SABIC」）及び三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小林 健）と、サウジアラビアにおけるアクリロニトリル（以下「AN」）の共同事業化の詳細検討を行うため、本日、合弁会社の設立を決定しましたので、お知らせします。

1. 背景、経緯

旭化成グループでは、AN事業をグローバル拡大事業の一つとして位置付け、重点的に経営資源を投入し、世界 No.1 ポジションの獲得に向け積極的に拡大していく方針です。

ANの世界需要は今後も堅調な成長が見込まれており、当社では、特に今後成長が期待される中東・北アフリカ市場及び供給不足が懸念されるアジア市場に向けたプラントの新設を検討してきました。

この一環として、当社では、コスト競争力の高い生産拠点としてサウジアラビアにおけるANの事業化に関し調査、交渉を進めてきましたが、今般、SABIC及び三菱商事と合弁会社を設立し、ANの共同事業化実現に向けた具体的な準備を進めることに合意しました。

今後、製造設備の基本設計に着手するとともに、詳細な事業計画の作成を進め、設備投資の最終的な意思決定は2012年を目指します。

なお、当社グループ全体のAN生産能力は、現在の75万トン/年（日本、韓国合計）に、タイでのプラントの新設（2011年中央商業運転開始予定）、韓国での能力増強（2013年1月商業運転開始予定）、本プラント新設が加わり約140万トン/年規模となり、世界 No.1 ポジションとなる予定です。

2. 合弁会社概要

(1) 会社名：(仮称) Saudi Japanese Acrylonitrile Company

通称：Shrouq（シュルーク＝アラビア語で"朝日"の意味）

(2) 本 社：サウジアラビア王国アルジュベール市

(3) 株 主：SABIC 50%、旭化成ケミカルズ・三菱商事 50%

(4) 設立資本金：40百万サウジリヤル（約10億円）

(5) 計画している生産能力：プロピレン法AN 20万トン/年、青化ソーダ 4万トン/年

AN製造工程から副生する青酸を原料に、青化ソーダ製造プラントを併設する予定です。

<ご参考>

SABIC について

名 称 : サウジアラビア基礎産業公社 (Saudi Basic Industries Corporation)

本 社 : サウジアラビア王国リヤド

責任者 : Vice Chairman & CEO Mohamed H. Al-Mady

事業内容 : 石油化学

資本金 : 300億サウジリヤル (約80億米ドル)

大株主 : サウジアラビア王国70%

売上高 : 1,517億サウジリヤル(約405億米ドル) (2010年12月期)

以 上